

第 50 回国頭地区中学校新人野球大会要項

1. 主 催 国頭地区中学校体育連盟
2. 共 催 沖縄県教育委員会 国頭地区市町村教育委員会 国頭地区PTA連合会
3. 期 日 令和 5 年 11 月 25 日 (土) 1 回戦 9 : 00 (開会式は実施しない)
令和 5 年 11 月 26 日 (日) 準々決勝 9 : 00 準決勝
令和 5 年 12 月 2 日 (土) 決勝 9 : 00 ※閉会式 11 : 00 予備日 : 9 日(土)、10 日(日)
4. 会 場 25 日 (土)・・・金武中学校 (3) 今帰仁中学校 (2)
26 日 (日)・・・金武中学校 (3) 今帰仁中学校 (3)
9 日 (土)・・・金武町ベースボールスタジアム (1)
5. 参加資格 (1) 第 50 回国頭地区中学校新人総合体育大会要項に準ずる。
(2) 参加校の引率、監督は当該校の校長・教員・部活動指導委員とする。但し、教職員以外のコーチ 1 名については、学校長の認めた登録されたコーチでなければならない。
(3) 地域スポーツ団体等 (地域クラブ活動) の参加資格の特例については、沖縄県中学校体育大会開催基準『特別規定』による。(沖縄県中体連 HP 参照)
6. 競技規則 2023 年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟競技者必携並びに本大会規定に準ずる。
7. 大会規定 (1) 1 チームの登録選手は 25 名、監督 1 名、コーチ 2 名 (外部コーチ 1 名)、記録員 1 名の計 29 人以内とする。
(2) チームの選手 (監督・コーチ含む) は同色、同形のユニフォームを着用する。コーチ (教職員) の服装は平服でもよいが、選手と同じ帽子を着用すること。また、記録員はユニフォームか制服とする。シューズ・スパイクについては、色の混在を認める。尚、高校野球対応のもとする。
(3) 試合は 7 イニングとする。但し、3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差以上の場合はコールドゲームとする。
(4) 全試合とも延長戦 (8 回以降) はタイブレーク方式を行い、勝敗を決定する。
※天候等の理由により大会本部の協議の上、特別ルールを設定する場合もある。
◎タイブレーク方式
無死 1・2 塁継続打順制のタイブレーク方式を行い、先攻・後攻で得点の多い方を勝ちとする。そのイニングで勝負が決しない場合はさらに継続打順でこれを繰り返す。
(5) 同日に 1 チーム 3 試合は行わない。
(6) 背番号は 1~25 番を使用し、原則としてポジション順とする。
(7) 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク (J. S. B. B.) と SG マーク入りの捕手用ヘルメット、マスクを使用する。また、スロートガード、レガース、プロテクター、ファウルカップを使用すること。(投球練習時の控え捕手も同様) また、打者、走者、次打者、ベースコーチ、バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク (J. S. B. B.) と SG マーク入った両側のイヤーフラップ (内側にスポンジ等) のついたヘルメットを使用すること。
(8) マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への、持ち込みを禁止する
(9) 日没、降雨についてのコールドゲームは行わない。(全試合継続試合を適用)
(10) アピールは当事者が監督に限る。
(11) ベンチは抽選番号の若いチームを一塁側とする。但し、連続試合の場合はその限りではない。
(12) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止する。
(13) オーダーの交換は前の試合の 4 回終了後 (第 1 試合においては試合開始 45 分前) に監督立ち会いの上、主将が行う。

(14) 試合中に起きた事故については応急処置のみとし、その後は各学校で責任を持って処置する。

(15) 手袋を使用する場合は、「白」か「黒」色の高校野球対応の手袋を使用する。

(リストガード等の使用は禁止する)

(16) タイムアウト

① 監督が投手の所へ行く回数の制限

ア、監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。尚、延長戦(タイブレーク方式も含む)は、1イニングに1回行くことができる。

イ、監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合(伝令・選手への指示等で投手の所へ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。尚、他の守備位置についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。

② 守備側のタイムの回数制限

ア、捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。尚、延長戦(タイブレーク方式も含む)は、1イニングに1回行くことができる。野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督が行けば、双方1度として数える。逆の場合も同様とする。

③ 攻撃側のタイムの回数制限

攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。尚、延長戦(タイブレーク方式も含む)は、1イニングに1回とする。

(17) 投手の投球制限を適用する。【全日本軟式野球連盟競技者必携】

(18) 投手の12秒ルール及び20秒ルールの取り扱い基準を適用する。

【全日本軟式野球連盟競技者必携】

8. 試合球 全日本軟式野球公認M号を使用する。

9. 表彰 (1) 優勝チームには優勝旗・賞状、準優勝チームには賞状を授与する。
(2) 3位のチームには賞状を授与する。(団体表彰のみ)
(3) 個人賞は殊勲・敢闘・打撃1位、2位に賞状を授与する。

10. 申し込み 令和5年11月10日(金)午後3:00締切 久辺中学校 宮里 聡仁 宛

11. 監督会 令和5年11月13日(月)午後4:00 場所:【 】

12. 参加料 登録選手一人あたり500円を監督会時に納入する

13. その他 (1) 北部地区中学校新人野球大会(ロータリー大会)のベスト4をシードする。
(2) 第14回KBC学園杯争奪 第27回沖縄県中学校新人軟式野球大会へ上位2校を推薦する。
【12月26日(土)~28日(月) 他】
(3) 7:15より監督会を行い、悪天候の場合は9:00までの間に態度決定を行う。
(4) 試合後のグラウンド整備及び次の試合の補助員は、割り当てられたチームで責任を持って行う。
(次の役員が来るまで役員を行っておくこと。)
(5) 参加にあたっては、各学校の服装・容儀規定を遵守し、基本的には各学校において指導を行う。
(6) 試合予定時間の1時間前までには球場に到着していること。
(7) 球場内外の清掃は各学校で時間をかけて行い、ゴミの処理は責任を持って行う。
(8) 天候によっては試合時間を変更する場合もある。

14. 式典 ◆開会式(実施しない)

◆閉会式(司会)

- ①開式のことば
- ②成績発表
- ③賞状並びに優勝旗授与
- ④大会講評
- ⑤閉式のことば